



まちのシンボル「ひと・まち・ゆめ」

わが町 志津南 NEWS

志津南ホームページ
http://waka-kusa.net/

発行
志津南地区自治連合会
連絡先
志津南市民センター
(公民館) 563-6206

平成20年度 自治連合会収支決算報告

収入の部

項目	決算額
前年度繰越金	2,239,821
草津市助成金	698,300
福利環境補助金	341,000
各町内からの会費	3,367,600
自主防災会補助金	189,000
雑収入	74,051
合計	6,909,772

支出の部

項目	決算額
本部活動費	
会議費	75,465
事務費	32,649
慶弔費	5,000
印刷費	104,884
分担金	20,660
広報費	215,555
町並保存関連費	50,000
コピー費	432,310
事務局費	204,412
備品費	24,150
小計	1,165,085
集会所経費	415,355
一般事業費	
環境美化活動費	156,956
夏祭り事業費	900,000
スポーツまつり	100,000
左義長	48,632
公園防犯電気代	9,248
自主防災経費	107,790
小計	1,322,626
各種団体 会費&助成金	
社会福祉協議会	450,500
敬老会	170,000
体育振興会	480,000
老人クラブ連合会	84,000
健康推進連絡協議会	50,000
青少年育成区民会議	70,000
子ども110番	25,000
子ども会	120,000
交通安全会	30,000
小計	1,479,500
予備費	2,527,206
合計	6,909,772

平成21年度の町内総会・自治連総会も終わり、自治連では今年度の重点活動を次の通り進めていきます。

災害時の要支援者把握など、助けあうために必要なことを自主防災会・民生委員などに登録していく取り組みを始めます。昨年、長年の懸案であった自主防災会が結成され災害時はもとより「いざという時」住民同士が助けあうことができる町づくりを推進します。

一斉清掃の実施時期を5月、9月、11月の年3回に増やしました。5月と11月は住民による一斉清掃、9月は環境美化助成金を活用して、老人クラブ・



西公園に新設された倉庫

社協などの有償ボランティアにより東・西・中央公園の草刈り清掃を実施、また夏まつり開催前は老人クラブが中央公園の草刈りを行います。

こうした環境美化活動に必要な軽トラ(中古)を購入する考

コミュニティ基金

収入の部

項目	決算額
前年度繰越金	6,608,181
利息	13,801
新規加入	0
自治連基金	53,000
合計	6,674,982

支出の部

項目	決算額
第5集会所 冷蔵庫購入	34,855
予備費	6,640,127
合計	6,674,982

えです。

町内美化に関連して看板類の整理・整備を行います。傷んだもの、時代にそぐわなく陳腐化したものなどを整理し改善していきます。

今後の地域自治に向け、市が柱として提唱している新たな地域自治の組織である「地区協働のまちづくり協議会」の設立について検討を開始します。

これは地域の活動を集約し、自己決定・自己責任による「まちづくり」地域自治体の経営

を行うための新たな仕組み(組織)で、住民が主体となって地域自治を行うことです。

自治会はじめ既存の各種組織を集約し地域の環境美化、福祉、防災、防犯、青少年育成、町内会活動など日常の暮らしに関する活動、並びに将来の町の課題を解決して自分たちの町づくりをしていく地域の代表組織をイメージしていただければ結構です。

高齢社会が目前に迫っています。助けあって暮らせる自分

定額給付金臨時窓口

定額給付金の手続きはもうお済みですか。市は6月に市民センターなどを巡回して申請を受け付けることにしており、当地区では次の日程で行われます。

日時 6月2日(火)午前9時~午後5時15分
会場 志津南市民センター(公民館)多目的室
持参品
必要事項を記入した申請書
世帯主の身分証明書(または写し。顔写真付きなど)
世帯主名義の通帳(または写し)
申請書に押す印(認め印、シャチハタ印可)

21年度自治連事業計画 災害時支援体制など 安全安心な地域をめざす

社協の21年度事業

担い手づくりなど重点に

志津南地区社会福祉協議会は4月19日、志津南市民センターで平成21年度総会を開き、上田恒章会長ら新執行部を選出するとともに、「福祉の土壌作り」「活動の担い手づくり」「個別



援助活動」を重点計画とし活動していくことを申し合わせました。写真。今年度は草津市地域福祉活動計画に沿って、「志津南住民福祉活動計画」を策定し、先にあげた3つの重点課題を自治連、諸団体と連携して取り組んでいきます。

平成17年度から進めている民生・児童委員、老人クラブ連合会など各種団体、住民ボランティアの皆さん、NPOの皆さんの協力を得、中央公園の花壇整備や「通学路安全ハトール」、「花ボランティア」の更なる充実を図りたいと考えています。数年前から取り組んでいる「緑の手入れボランティア」に

ついては受付期間を倍増し充実を図るとともに、牟礼山登山道などの整備をしてきた「環境美化ボランティア」の再構築を図ります。

新年度事業計画の骨子、新役員は別項の通りです。

【平成21年度事業計画】

福祉推進基盤強化
新規事業の企画開発、安全な地域づくりの検討と実践、地域活動計画の作成、広報紙発行、社会福祉事業先進地見学など研修、学習

福祉の土壌づくり
福祉懇談会、福祉講座、レクリエーション、福祉の体験学習、心身障害児ふれあい交流推進、高齢者とボランティアの交流、5歳以下の育児に関する講習、園児育成に関する講習
高齢者ふれあいサロン

平成20年度収支決算報告	
歳入の部	決算金額
繰越金	356,807
会費	450,500
草津市社協補助金	1,082,690
自治連助成金	170,000
雑収入	97,697
合計	2,157,694
歳出の部	決算金額
市社協分担金	135,150
草津市社協補助金事業	1,106,272
高齢者仲間づくり事業	30,000
高齢者健康維持事業	166,993
子どもと高齢者のふれあい事業	85,000
子育て支援事業	155,000
自治連合会助成金	160,654
ボランティア活動	63,698
予備費	26,489
合計	1,929,256
次期繰越金	228,438
総合計	2,157,694

ふれあいお茶会、若草サロン
個別援助活動
一人暮らし高齢者との昼食会
高齢者健康ウォーキング
活動の担い手づくり
高齢者による町内清掃、若草文庫の運営(本の貸し出し)
子ども向け料理教室
敬老会
平和祈念講演会
高齢者の仲間づくり
書道、編み物など生きがい講座の実施

高齢者の健康維持
高齢者向け料理教室、ニュースポーツ振興による高齢者ふれあい健康推進
子どもと高齢者のふれあい
高齢者と子どもの夏期ラジオ体操、ふれあい夏まつり、心を育むふれあい活動
子育て支援
児童育成に関する講習、小学校の総合学習、ふれあい広場
子どもの健康維持活動、未就学児の集い

ボランティア活動の充実
花いっぱい運動、緑のボランティア、通学路の安全ボランティア
【平成21年度役員】
会長 上田 恒章
副会長 友村 秀夫
同 林 茂
会計 村井由美子
福祉部会長 降矢 義夫
ボランティア部会長 小牧 義彦
事務局長 難波 通孝

満開の桜楽しむ

志津南地区社会福祉協議会ボランティア部会の有志が4月11日、牟礼山山頂口ベンチ付近でお花見をしました。写真。上り口から貯水タンクまでの桜並木も満開、数年前に植樹されたしだれ桜もかわいらしい花をつけ、また時折吹くさわやかな風に花吹雪が舞う中、地域の幼児から年配のかたがた30人近くの参加者が春を満喫しました。



この日のために前もってボランティア部会の有志が雑草など刈り込み作業をした席では差し入れの「こごみ」や「三つ葉」など山菜のてんぷら、おにぎり、果物などに舌鼓。またお抹茶も点てるなど、会話も弾みとてもなごやかで

特に天ぷらなどは塩、天つゆ、マヨネーズなどつけて食するととてもおいしく春の香りが感じられます。

楽しいひと時は絶好のお花見となりました。

山菜の「こごみ」は、シダ類でアクもなく、胡麻和え、

この付近は、かつて部会の環境美化グループが草津市唯一の山、牟礼山(標高221m)の散策路を守ろうと倒木の伐採や雑草刈、「ゴミ拾い」などをしました。そうした中で、珍しいささゆりの楚々とした美しさに気づき、その後、ささゆりの保護にも取り組みました。おかげで整備された登山道を行く人も増え、山越えで青山・松ヶ丘方面へと下山、若草へと帰路のコースをとると約50分の道程です。また山頂からは比良連峰を背にする琵琶湖、近江富士、そしてわが町を眺めるのもいいものです。このような自然の中で活動に皆さんのご参加をお持ちします。

(ボランティア部会)

古布でぞうりづくり



初夏を思わせる日差しが4月18日、市民センターのボランティア養成講座(環境講座共催)で、子どもたちが使うための『手づくり布ぞうり』を開催しました。写真。

受講生15人のボランティア志願者が、地元の「達人」の指導を受けながら、色とりどりの古布を使って、各々センスあふ

風呂敷でエコを

今年度最初の「やすらぎ学級」が4月22日、「風呂敷でエコ」と題し公開講座として市民センター(公民館)で開催されました。写真。参加者は今年度の学級生を含む47人。

講師は、最近メディアにも登場して活躍されている日本風呂敷協会の西澤良子さん。軽快なおしゃべりと準備されたユニークな風呂敷使いに、参加した誰もが興味津々!



風呂敷がレジ袋やかわいい巾着、帽子に変身!そして、2枚の風呂敷を使ってリュックサックに仕上げて試着した時は、会場に歓声が上がりました。時折マナー講座を織り込みながら風呂敷活用術を楽しく学んだ、あっといふ間の90分。「物」と「こころ」を優しく柔軟に包む日本文化・風呂敷の素晴らしさを再発見した講座でした。

に「する?」など賑やかな声でいっぱい。

受講生のほとんどが初心者でしたが、終了時には、家で眠っていた古布が、カラフルで素敵な布ぞうりに大変身。2人1組になって1足に仕上げ、携帯

カメラでパチリ。受講生は、力作を公民館職員に託して、笑顔で公民館を後にしました。

優しさが詰まった布ぞうりは、少しの間、公民館のサロンに展示した後、子どもたちに使ってもらいます。

受講生は、力作を公民館職員に託して、笑顔で公民館を後にしました。

優しさが詰まった布ぞうりは、少しの間、公民館のサロンに展示した後、子どもたちに使ってもらいます。

こふみ

- 5月16日(土) 『食農体験とハイキング』 わんぱく南っ子・地域協働合校 9:00~16:00 健康ウォーキング 8:15 若草中央公園集合
- 5月17日(日) 『田植え体験』 13:00~15:00 子ども会
- 5月21日(木) 食育講座 『元氣プロデュース朝食作り』 10:00~12:00
- 5月23日(土) 社会奉仕 8:45 若草中央公園集合
- 5月26日(火) 地域サロン: 懐メロを歌う会 10:00~11:30
- 5月27日(水) やすらぎ学級(開講式) 13:30
- 5月30日(土) 『小川の水質調査』午前中 わんぱく南っ子・地域協働合校
- 6月2日(火) 定額給付金臨時申請窓口 9:00~17:15
- 6月5日(金) 定例健康相談日 9:30~12:00 市健康推進課 ふれあい昼食会 12:00~13:00 ボランティア「泉」
- 6月6日(土) 健康ウォーキング 8:15 若草中央公園集合
- 6月9日(火) 地域サロン: 懐メロを歌う会 10:00~11:30
- 6月13日(土) ホタルを見に行こう 18:00~21:00 わんぱく南っ子・地域協働合校 印の会場は志津南市民センター(公民館)です

21年度各団体代表者

町並み保存委員会	星野 眞直
社会福祉協議会	上田 恒章
体育振興会	大上 勝彦
人権教育推進協議会	松永 直樹
青少年育成区民会議	黒田 敏一
子ども会	福井 春美
老人クラブ(若寿会)	海部 三徳
民生・児童委員協議会	林 茂
健康推進員連絡協議会	喜田 久子
自主防災連絡会	江口 孝
交通安全会	加藤 芳顕
草津・栗東交通安全協会	妹尾 志郎
地域安全連絡協議会	小野 栄祐
広報委員会	津田 英二

志津南地区の平成21年度各団体の代表者が正式に決まりました。代表者氏名は表のとおりです。

受講生募集

テーマ 元氣プロデュース 忙しい朝ごはん・朝ごはん

日時 5月21日(木) 午前10時~12時

内容 身体も頭も元気になる朝食づくり

対象 小学生か未就学児の保護者20人(託児あり)

場所 志津南市民センター

持ち物 エプロン・三角巾・布巾

受講料 三百円

締切 5月16日(土) 17時

申込・問合せ 市民センターへ

テーマ 滋養自慢。見る! 聞く! 考える! (4回連続)

第1回 7月28日(火) 飯室 不動堂で酒井大阿闍梨の法話

第2回 9月9日(水) 沖島訪問

第3回 10月7日(水) 湖南 中部浄化センター、イオンモール見学

第4回 11月11日(水) 湖東 三山散策

定員 25人

受講料 千二百円

締切 5月30日(土) 17時

対象 市内在住・在勤の人 (応募多数の場合は抽選)



太鼓の音というのは不思議に人の気分を高揚させる。古来、洋の東西を問わず戦場に太鼓(ドラム)を伴っていたのも、戦闘指揮と兵士の士気を高める必要があったからだろう。わが国では、太鼓はまた農事と密接にかかわっており、田植えや稲刈りのほか、収穫を感謝する秋祭りには鎮守の森に太鼓の音が響き渡った。そんな和太鼓が今では楽器演奏として国内外で人気を博している。

草津本陣太鼓(早瀬安三代

一系乱れぬバチさばきをみせる本陣太鼓のメンバー



草津本陣太鼓

大気震わす迫力

表)は、東海道と中山道の分岐点として数え切れない旅人が出会い、別れていった宿場町草津に自分たちの未来を重ね合わせ、町の活性化にながればと平成四年十月、空手の早瀬さんが草津宿本陣の名前をもらい門下生を語らって立ち上げた。直径一丈二〇釐の大桶太鼓一基、長胴太鼓六基は早瀬さんが自腹を切って揃えた。毎週火曜日夜に市民センター(公民館)で練習しているという

「基本に据えられている。これまで求めに感じ、宿場まつりや若草夏まつりなど各所で演奏してきた。今年も八月の草津夏まつり(草津第二小)のほか夏の自治会行事で披露する。もっぱら演奏するのは、大名鼓(本陣太鼓)の子ども版)のメンバーが練習していた。小さいながら見事なバチさばきと感心していたら、リーダーが「や

り直し」。なかなか厳しい。このあと、本陣太鼓の練習が始まった。リーダーの中村浩二さん(38)が「礼」と一声。男女六人が姿勢を正して礼をする。太鼓の前にバチを構える。大桶太鼓の中村さんの掛け声で一斉に太鼓を打つ。太鼓の面には音を抑えるため布を張ってあるが、それでも音色には迫力がある。太鼓の面とキネ(太鼓の縁)が心地よいリズムを刻む。

終わると再び「礼」。「礼に始まり礼に終わる」武道の精神

譜などではなく「口唱歌」という口伝によって、リズム、間合いをとる。もちろん「音を合わせるのが第一」だが、これが結構むずかしい。とくに女性にとつて、男性と同じ音を出すのは大変な仕事。空手三段の中村さんも「スポーツ」といっていい。足から伝わってくる動きは空手の動きに近いし、力強い音を出すには、それなりの体力がいる」ことを認める。

この日練習に加わっていた女性の一人、会社員谷口咲子さん(若草四丁目)は十年前に聞いた和太鼓のコンサートがきっかけで「太鼓をやりたい」と思ったそう。本陣太鼓には四年前の平成十七年に入会した。

うのでぞいてみた。本陣太鼓の前に、女性と子ども九人の飛翔太鼓(本陣太鼓)の子ども版)のメンバーが練習していた。小さいながら見事なバチさばきと感心していたら、リーダーが「や

が基本に据えられている。これまで求めに感じ、宿場まつりや若草夏まつりなど各所で演奏してきた。今年も八月の草津夏まつり(草津第二小)のほか夏の自治会行事で披露する。もっぱら演奏するのは、大名鼓(本陣太鼓)の子ども版)のメンバーが練習していた。小さいながら見事なバチさばきと感心していたら、リーダーが「や

「最初は、太鼓の音が小さくてみんなに迷惑をかけた。でも熱心に教えてもらったおかげで、今はすごく楽しい」。汗ばんだ顔は充実感にあふれていた。

代表 早瀬 安三
会 員 12人
活動 毎週火曜日午後8時から同9時半。毎月1回日曜日(不定期)

場所 志津南市民センター
会 費 月額1500円
連絡先 中村浩二リーダー
携帯090 (8655)7499

一斉清掃5月24日に
自治連合会は地域の「一斉清掃」を年3回に増やすとともに、実施時期を変更しました。1回目は5月24日(日)に実施、当日は各町内所定の場所(公園)に8時25分に清掃用具をもって集合してください。なお、雨天の場合は5月31日(日)に延期します。子どもさんの参加も歓迎です。多数ご参加ください。

草津市がまちづくり活動をサポートしようと市内の二百四町内会を対象に行つたアンケート結果が新聞に掲載されていた。町内会長を務めている世代は六十、七十代が67%を占め、高齢者が活動の中心的な担い手で活動で困っているのは「役員」のなり手が少ないが69%、「行事への参加が少ない」が54%と、住民の関心の低さに悩んでいることが浮き彫りになったそう。コミュニティのあり方に警鐘を鳴らしているように思う。

一方、当地区の役員は輪番制で、年齢層も偏ってはいないが任期は一年、辛抱して引き受けておられるのが現状ではないで

夏まつりは7月25日
第12回志津南ふれあい夏まつりは7月25日(土)午後5時から若草中央公園で開催することを決めました。
5月16日(土)には第一回夏まつり実行委員会を開催、盛大な夏まつりとなるよう各町内会はじめ各団体に協力を要請することになっています。

まぢづくり
地域住民が共に助け合い安心して暮らせるまちづくりを真剣に考えなければなりません。地域には時間に余裕のある方が増えてきています。「みんなに喜んで頂けることが人生の楽しみ」に地域の活性化に「一役を担っていたら地域全体のシステムが必要ではないでしょうか。」(若草一丁目ABC)

しょうか。
開発された当時は働き盛りの年代が集り、役員選出も輪番制で支障はなかったが、それから24年を経過、60歳を超える方々を中心になって来た。
高齢化が進んでいく中、安心して暮らせるまちづくりを誰が、どのように進めていくのかが心配ではありませんか。近隣の絆も希薄になり、